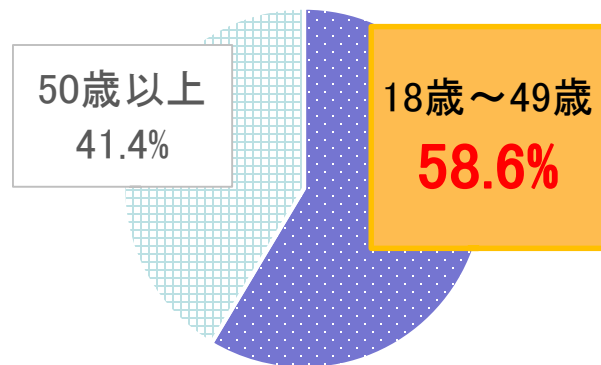


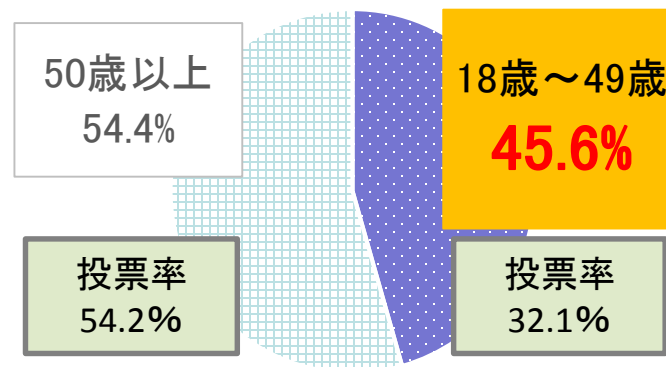
# 今までの投票行動のままでは、 若者・子育て中心世代の声を届けるのは難しい

## 中野区の次期区長選挙における有権者数および 投票者数に占める世代別割合（見込み）

有権者数における  
世代別割合\*1



実際の投票時の  
世代別割合  
\*2



「若者・子育て中心世代（18歳～49歳）\*3」の人口は、  
**有権者数の6割近くを占めるが、投票率が低いため、  
投票者数においては全体の過半数を切っている**

\*1 平成30年1月1日時点の区人口統計（年齢別）より算出

\*2 \*1の年齢別人口×直近の地方統一選（平成23年4月24日）の区市町村長選挙年齢別投票率より算出

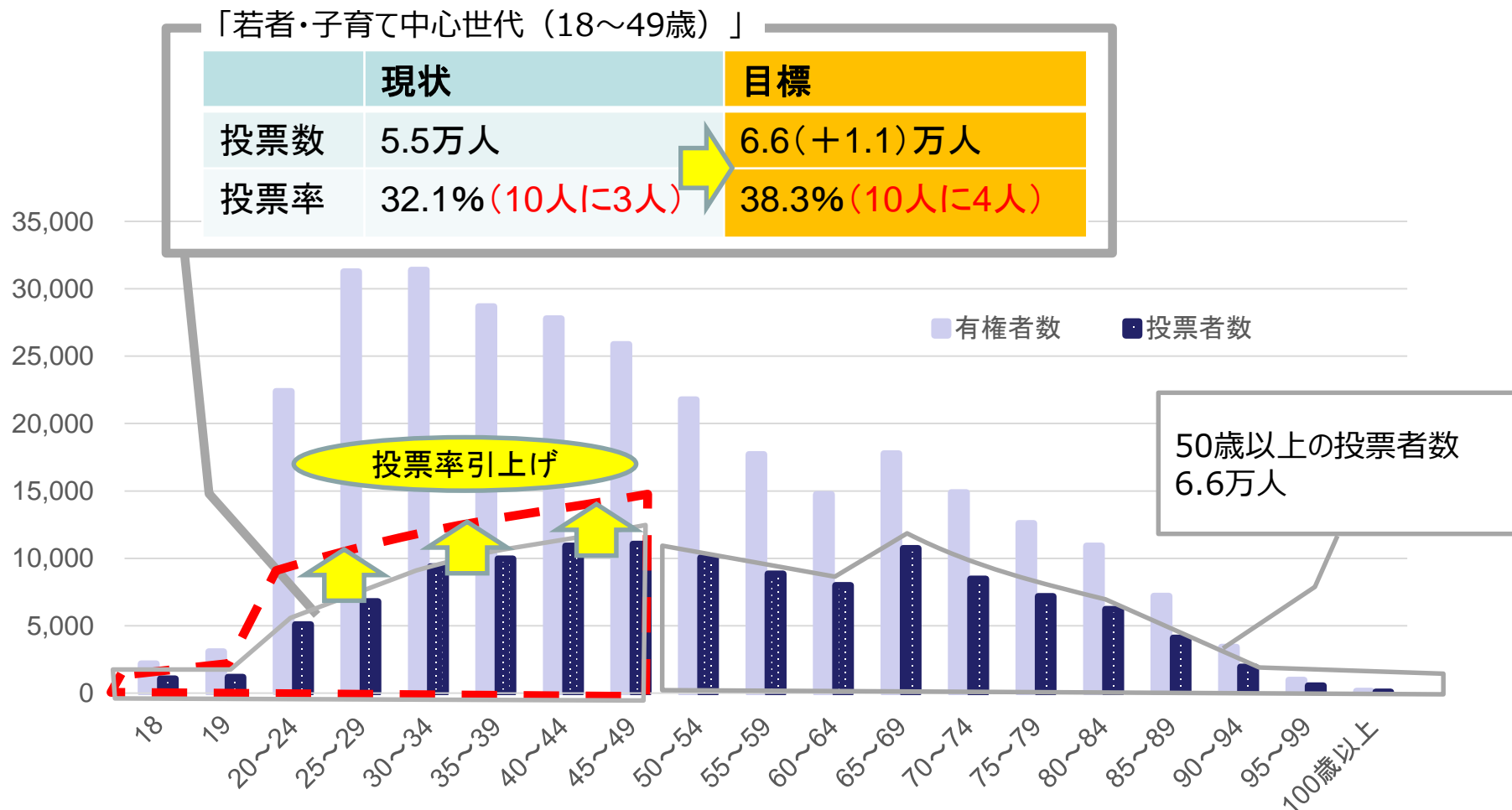
\*3 平成27年厚生労働省人口動態調査における第1子出生時の平均年齢（母30.7歳、父32.7歳）、および合計特殊出生率の算出対象（15～49歳）より当会にて定義

出所）中野区人口統計（年齢別）

東京都選挙管理委員会事務局「年代別投票行動調査結果」

# 若者・子育て中心世代の声が過半数を占めるためには？

## 中野区の次期区長選における年代別有権者数と投票者数（見込み）



「若者・子育て中心世代」の投票率を  
現在の“10人に3人”から“10人に4人”に増やせば過半数をとれる